

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【公開番号】特開 2001-209327 (P2001-209327A)  
 【公開日】平成 13 年 8 月 3 日 (2001.8.3)  
 【出願番号】特願 2000-20372 (P2000-20372)  
 【国際特許分類】

**G 0 9 F 9/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 9 F 9/00 3 3 6 G

G 0 9 F 9/00 3 5 0 Z

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 1 月 17 日 (2007.1.17)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 0 3  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 0 3】

そのため、対角寸法 20 インチ以下の液晶表示装置で主流となっているエッジライト型のバックライトでは必要とされる輝度を達成できないことがある。また、表示画面中央部で端部よりも輝度が小さくなり、輝度分布が不均一となることもある。エッジライト型のバックライトは、アクリル板等からなる導光板の端面に冷陰極蛍光管等の光源を配置したものであり、導光板の端面に沿った箇所以外に光源を配置することができないからである。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 8  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 3 8】

図 2 の要部断面斜視図に示すように、プラスチックフレーム 11 は、詳しくは、内側端に棚状突起 11 a を有する。この棚状突起 11 a が、一方では、拡散板 12 の周縁部を金属フレーム 2 の水平壁 22 の内側端部とともに挟持しており、他方では、表示パネル 3 の周縁部 3 a をベゼルカバー 4 の内側端部 44 とともに挟持している。プラスチックフレーム 11 における、棚状突起 11 a より上方の部分の内側端面 11 b が表示パネル 3 の端面に当接して、バックライト 1 に対する表示パネル 3 の水平方向の位置決めを行っている。